

# マヨール大学、Red Hat エンゲージメント で働き方にコラボレーティブかつアジャイル な手法を採用



## ソフトウェアとサービス

- Red Hat® コンサルティング Red Hat Open Innovation Labs
- Red Hat OpenShift®
- Red Hat トレーニング
- DO500 DevOps Culture and Practice Enablement
  - DO700 Container Adoption Bootcamp

COVID-19 のパンデミックは、高等教育機関が革新的なデジタル・ソリューションを用いてリモート学習に適応する必要性を加速させました。チリのマヨール大学は Red Hat と協力して、IT インフラストラクチャと作業プロセスをモダナイズする戦略的アプローチを開発しました。Red Hat トレーニングコースを含む Red Hat Open Innovation Labs の仮想ワークショップで参加型の実験を行うことで、マヨール大学は、学生、教員、そしてより広い大学コミュニティとの関わりを再構築するためのコラボレーティブかつアジャイルな手法と堅牢なインフラストラクチャ基盤を確立しました。



## 教育

学生数 **23,000人**  
キャンパス**11**箇所

## メリット

- ▶ コラボレーティブで透過的な文化の基盤を確立
- ▶ 新しいサービスやソリューションの提供時間を短縮
- ▶ 大学コミュニティとのエンゲージメントを向上

## 本部

「Red Hat 独自のワークショップ手法では、ビジネスチームとテクノロジーチームが一体となって対話を行い、技術的な側面だけでなく、新しく異なる文化をサポートするためのスキルや能力の構築にも焦点を当てます。」

**Mario Herane 氏**  
開発・経営担当副学長  
マヨール大学

「私たちの目標は、大学の  
コンセプトを再考し、組  
織の文化的変革を実施し、  
時としてイノベーションと  
進歩の障壁となる従来の  
ロジックや構造から脱却  
することでした。」

**Mario Herane 氏**  
開発・経営担当副学長  
マヨール大学

## 先進的かつハイブリッドな教育エクスペリエンスをサポート

1988年に設立されたマヨール大学は、30年以上にわたって持続的な成長、イノベーション、リーダーシップを維持し続けてきたチリの高等教育機関です。また、同大学はチリの大学で初めて国際的な認証評価を受けた大学でもあります。マヨール大学はチリ国内に10キャンパス、フロリダ州マイアミに1キャンパスを運営しています。

同大学の開発・経営室は、ブランド価値の創出や教育および研究資金への貢献など、成長戦略の立案と実施に重点を置いています。

マヨール大学の Mario Herane 副学長（開発・経営担当）は、次のように話しています。「テクノロジーは、私たちの教育機関を際立たせている資産です。私たちは、強固なテクノロジー・インフラストラクチャを効率的に活用することで、学生や教職員に比類ない経験を提供し、教育や学術的業績に対する評価を得ることができると考えています。」

マヨール大学では、IT 管理者が遠隔地やキャンパスで勤務できるハイブリッド勤務モデルの導入や、オンライン教育モデル、遠隔指導用のデジタル学習プラットフォームの導入など、学生、教職員向けのテクノロジー環境に多大な投資を行ってきました。

競争力を維持し、場所を問わず適切で魅力的な教育体験を提供するという課題に対応するため、マヨール大学の IT チームは新しいテクノロジーについて継続的に学び、積極的に採用していきたいと考えています。

「変化し続ける複雑な要件に迅速に対応するために、より柔軟になる必要がありました。従来のツールや手法にとらわれず、スピード感を持って仕事をするための新しい方法を探していました」と Herane 氏は振り返ります。「単にテクノロジーに投資するのではなく、チームワークを向上させ、学生や職員のエクスペリエンス向上の成果を測定してより効果的なサービスを構築できるようにするための文化的変化に投資する必要がありました。」

## 専門家主導の参加型ワークショップで文化的変化を実現する

革新的なオープンソース・テクノロジーと DevOps のような新しい開発手法を組み合わせる方法を学ぶため、マヨール大学は [Red Hat Open Innovation Labs](#) を通じて Red Hat コンサルティングと共同で取り組むことにしました。COVID-19 のパンデミックのため仮想的に提供された Open Innovation Labs は、参加型のチーム・エンゲージメントとして、参加者が強化されたサービスやソリューションをより迅速に提供するためのスキル、ツール、プロセスを導入できるよう支援しました。

「従来の開発手法は理解していましたが、新しい手法への文化的転換の初期段階を完了させるための支援が必要でした」と Herane 氏は言います。「オープンソース・モデルとの密接なつながりを持つ Red Hat 独自のワークショップ手法では、ビジネスチームとテクノロジーチームが一体となって対話を行い、技術的な側面だけでなく、新しく異なる文化をサポートするためのスキルや能力の構築にも焦点を当てます。」

最初の 4 週間の Open Innovation Labs 仮想ワークショップ期間中、マヨール大学のチームは Red Hat の専門コンサルタントやエンジニアと密接に協力し、コラボレーションやテクノロジーの最適な活用のためのベストプラクティスについて学びました。また、望ましいビジネス成果に沿うよう、テクノロジーと文化の変化のマッピングを行いました。

この作業の一環として、マヨール大学は、開発者の生産性を向上させ、ハイブリッド環境やマルチクラウド環境でのイノベーションを支援するエンタープライズ Kubernetes コンテナ・プラットフォームの Red Hat OpenShift を採用しました。また、マヨール大学は、Red Hat トレーニングの 2 つのコースにも参加しました。

DO500 DevOps Culture and Practice Enablement コースでは、組織の全部門の 20 人以上が Open Innovation Labs の仮想ワークショップ期間中、変革の準備に必要なプラクティスとプロセスを学びました。また、DO700 Container Adoption Bootcamp コースは、運用、管理、デプロイメントのトラブルシューティング、クラスタの健全性のために OpenShift を使用する方法に関するベストプラクティスを提供することで、技術的なスキルギャップを軽減させました。この 2 つのコースによってマヨール大学は、規模を拡大してオープンな組織になるためのテクノロジー、プロセス、オープンプラクティスについて理解を深めました。

Red Hat との協働を通じて、同大学はオープンでアジャイルなプラクティスに沿い、イノベーションと実験への意欲を軸とした、コラボレーティブかつ価値重視の企業文化の基盤を確立することができました。

## **コラボレーティブでアジャイルな手法による革新的ソリューションの構築**

### **コラボレーティブで透過的な文化の基盤を確立**

Open Innovation Labs での最初の取り組みとして、同大学のビジネスおよびテクノロジーの関係者は、組織の将来に対する統一されたビジョンを共同で策定するための新たな方法を学びました。共に学び、実験する文化を確立することで、ビジネス上の課題に対する創造的なソリューションを見出すことができ、同時にイノベーションに対する評判を維持することで競争力を維持することができます。

「Red Hat の手法は、人工知能や機械学習などの潜在的なソリューションや新しいパラダイムを幅広く共同でテストする自由と支援を与えてくれました」と Herane 氏は言います。「パートナーシップを重視した Red Hat の問題への取り組み方は、人々が学び、仮定や既成の方法に反論し、新しい知識を持って前進するという高等教育の精神に合っています。」

### **新しいサービスやソリューションの提供時間を短縮**

Open Innovation Labs での初期実装後、Red Hat OpenShift でアプリケーション開発を標準化したことで、マヨール大学のチームはより効率的かつ柔軟に作業できるようになりました。内部のユーザーは、従来の手法よりはるかに早い 2 - 3 カ月で実用最小限の製品 (MVP) バージョンのコードにアクセスし、テストと改良を行うことができるようになりました。

「Red Hat OpenShift の応答性の高いモジュール式アーキテクチャに支えられたこの新しい働き方により、その過程で発生する課題に対してとても柔軟に取り組めるようになりました。急速に変化する世界に適応するための対応力を維持しながら、より多くの情報に基づいたテスト済みの決断を下し、ユーザーに集中できるようになりました」と Herane 氏は話します。

### **大学コミュニティとのエンゲージメントを向上**

同大学は、この新しいテクノロジー基盤とビジネスチームや IT チームの枠を超えた作業アプローチを活用して、教員や学生を含むより大きな大学コミュニティと関わることで、彼らのニーズを把握し、対応しています。

こうした取り組みの一環として、個別のラーニングパスを備えた動的な学習プログラムなど、複数の新しいソリューションが導入されました。このようなプログラムを活用すれば、学業と仕事の両立など、学生は自分のスケジュールやワークロードをより自由にコントロールできます。

「学生がより簡単かつ柔軟に大学や社会との交流を行うことができるように、このようなソリューションを導入しました」と Herane 氏。「伝統的な教育システムは従来の論理に従っているため、このような特徴を備えていません。しかし、実験を奨励する私たちのコラボレーティブな手法により、学生のエクスペリエンスを向上させる革新的なソリューションを見つけることができました」。

## ワークショップの経験を活かす新たな機会を見つける

マヨール大学では、新たに得たテクノロジーに関する知識やコラボレーティブな文化的アプローチを、実地研修や大学リーダーを対象としたオープン・リーダーシップなどの新しいプログラムに応用する予定です。

「私たちの目標は、大学のコンセプトを再考し、組織の文化的変革を実施し、時としてイノベーションと進歩の障壁となる従来のロジックや構造から脱却することでした」と Herane 氏は話します。「Red Hat は、従来のテクノロジー企業の域にとどまりません。私たちが変革を遂げる間、私たちと肩を並べて共に取り組んでくれたのです。」

## マヨール大学について

マヨール大学は 1988 年に設立されたチリの民間大学です。11 のキャンパスと 4 つの学部を擁し、47 の学士号プログラムと 99 の大学院プログラムを 23,000 人以上の学生に提供しています。同大学の使命は、倫理的な行動、進取的な気性、イノベーション、リーダーシップ、文化のおよび社会的多様性の尊重を促す体験を通して、人々を教育することです。マヨール大学はチリ国立大学委員会および中部諸州地区基準協会からの認定を受けています。2010 年には、チリの大学として初めて国際基準に沿った質の高い認証評価を取得しました。



## Red Hat Innovators in the Open について

イノベーションがオープンソースの核心です。Red Hat のお客様は、オープンソース・テクノロジーを使用して、自社の組織だけでなく業界や市場全体も変化させています。Red Hat Innovators in the Open では、極めて困難なビジネス課題をエンタープライズ向けオープンソース・ソリューションで解決されたお客様の事例を紹介しています。貴社の事例も掲載していませんか？ [詳細はこちら](#)



## Red Hat について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、[フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザー](#)であり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

### アジア太平洋

+65 6490 4200  
apac@redhat.com

### インドネシア

001 803 440 224

### マレーシア

1800 812 678

### 中国

800 810 2100

f [fb.com/RedHatJapan](https://fb.com/RedHatJapan)  
 t [twitter.com/RedHatJapan](https://twitter.com/RedHatJapan)  
 in [linkedin.com/company/red-hat](https://linkedin.com/company/red-hat)

### オーストラリア

1800 733 428

### 日本

03 4590 7472

### ニュージーランド

0800 450 503

### 香港

800 901 222

### インド

+91 22 3987 8888

### 韓国

080 708 0880

### シンガポール

800 448 1430

### 台湾

0800 666 052